

れんごう中越地協

第1143号2023.4.21
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



農業 食料 環境問題を学ぶ第1回実行委員会

ユニバーサル農園 Oasis

「農業・食料・環境問題を学ぶ」2023年度長岡地区第1回実行委員会が、4月14日(金)午後6時半から地協事務所で開催された。

「Oasis R」で、NPO法人UNE、フードバンクなどがおこなう「Oasis R」は、食料や環境問題の理解を深めるとともに、単組、構成組織を超えた交流の場となるようにしていきたい」と挨拶を述べた。

中越地協のアジア・アフリカ救援米の取り組みは、連合新潟が2015年度事業実施をもつて終了したことから、農業・食料・環境問題を学ぶ事業として16年度はフードバン



「Oasis R」は、ユニバーサル農園として、障がいのあるなし、老若男女、貧富の格差、社会的地位など関係なしに、だれもが自由に参加し、一緒に農作業を通して、お互い

「Oasis R」で、NPO法人UNE、フードバンクなどがおこなう「Oasis R」は、食料や環境問題の理解を深めるとともに、単組、構成組織を超えた交流の場となるようにしていきたい」と挨拶を述べた。

「Oasis R」は、ユニバーサル農園として、障がいのあるなし、老若男女、貧富の格差、社会的地位など関係なしに、だれもが自由に参加し、一緒に農作業を通して、お互い



← 昨年の畑仕舞い

日本の奨学金の多くが返済義務のある貸与型であることから、大學生の2人に1人が平均300万円を超える借入れを行っており、約16万人が3ヵ月以上返済できない状況に陥っている。このように多額の債務を抱えた若者が返済困難に陥る生活設計に大きな影響を与える、所謂「奨学金問題」が大きな社会問題となっている。

高等学校奨学金を募集中

「Oasis R」は、ユニバーサル農園として、障がいのあるなし、老若男女、貧富の格差、社会的地位など関係なしに、だれもが自由に参加し、一緒に農作業を通して、お互い

2023年度高等学校奨学金 (給付型奨学金)

- 応募資格
 - 新潟県民の子どもにして、新潟県内の高等学校(中等教育学校(後期課程)、特別支援学校高等部含む)に今年度進学した生徒(新1年生のみ)で、経済的な事情で就学困難と認められる人。
 - 家族収入(支払金額)が300万円以内の人。
※家族収入は高校生本人の父母の収入合計となります。
 - 高等学校からの推薦書が必要となります。
- 募集人数 上限100名
- 応募手続き
応募手続きはすべて在学する高等学校経由となりますので必ず学校経由で応募願います。
- 応募受付期間
2023年5月10日(水) 17時必着。
- 問合せ先 (公財)新潟ろうきん福祉財団
TEL 025-288-5273

最近、連日のニュースで自動車のEV化を取り上げた記事をよく目にするようになった。4月18日から上海モーターショーが開催されたことや、アメリカの電気自動車メーカーのテスラ及び中国の電気自動車メーカーのBYD(比亞迪)が話題になり、それに関連してあらゆる分野の企業が新規参入を打ち出していることが要因かと思われる▼

カーボンニュートラルの観点から考えれば自動車のEV化だけではなく、移動手段の多様化が必要と考えられる。日本全国で高齢者による運転事故が多発しているため、免許を返納したいのだが、代わりに移動手段が無いという現状があるが、対策として全国どこでも直

あたご3
副議長
野田耕作

新潟県ライフサポートセンター
1人で悩まず、気軽にご相談ください
☎(0258)-86-8898 秘密厳守
相談は原則無料 平日:10時~16時
・日常生活全般・心の悩み・人間関係 等
〒940-0036 長岡市愛宕3-7-24 2F
Email nagaoka-lsc@galaxy.ocn.ne.jp

ぐに出来ることはバスの利用である▼現状の路線バスだけでは対策とならないが、自宅と日常生活の中で利用頻度の多い場所、例えば、スーパー、病院、市役所等を10分間隔で巡回するバスさえあれば、自動車を保有せずにある程度は生活できるはずである。駐車スペース、維持費、エネルギー等も削減出来て、更に渋滞や事故も無くなる。冬の道の除雪も緩和されるのではないだろうか。未だのまちづくりをトヨタ自動車や静岡県裾野市に現在建設中である「Woven City」が参考になるのかもしれない。言えることは、地球の温暖化対策を早急に行わなければならないのは間違いない。

サラリーマン川柳(痩せるツボ 脂肪が邪魔し 探せない)(意見箱 反映されず ただの箱)(休日 働き方の打ち合わせ)(メルカリで妻が売るのは俺の物)

第94回メーデー長岡地区大会概要

開催日 5月1日(月)

集合・デモ行進 集合・整列8:30、デモ行進開始8:40、大会会場入場完了9:30

※各構成組織単位に「メーデー参加者見込み数(座席の準備都合上)」を調査したところ、約450人が参加予定です。
※会場は、長岡市立劇場大ホールです。手指消毒などご協力のうえ、入場ください。

集合地・構成組織 **A集団** 市民防災公園 集団長：自治労、副集団長：電力総連、救護班：自治労 予定 (1.8K) 自治労、日教組(新教組・高教組)、JEC連合(帝石)、フード連合、全水道、ヘルスケア労協、政労連、自動車総連、厚生連、JP労組、情報労連、JR総連、電力総連、運輸労連、UAゼンセン、私鉄総連、交通労連、全労金、電機連合、直加盟組織、全国ガス、損保労連、退職者連合、各政党・団体、その他

B集団 幸町公園 集団長：基幹労連、副集団長：JAM新潟、救護班：ヘルスケア労協 予定 (1.2K) JAM新潟全体、JEC連合(石開)、基幹労連、紙パ連合、その他

地区大会会場 長岡市立劇場大ホール (来賓控室：第1楽屋 講師控室：第2楽屋 予定)

大会等次第

- 9:45～メーデー宣言朗読開始
- 9:50～主催者あいさつ
- 10:00～来賓挨拶(牧野連合新潟会長、磯田長岡市長)と来賓紹介
- 10:15～記念講演(講師：瀬治山 角さん 演題(仮)：『笑って考えよう家庭のこと、仕事のこと、未来のこと』 60分程度)
- 11:30～地域貢献事業発表と目録贈呈
- 11:35～プラカードコンクール審査発表
- 11:40～抽選会
- 11:50～団結ガンパロウ三唱

集合場所での「フードドライブ」にご協力ください

サラリーマン川柳 (どう耐える 百年時代 恐妻家) (手間暇を かけてインスタ 冷める飯) (AIも 太刀打ちできぬ 妻の勘) (あの頃は!) 今を語れぬ 我が上司)

連合新潟 2023春季生活闘争 2023年4月6日



発行：日本労働組合総連合会 新潟県連合会 〒950-8558 新潟市中央区新光町6-2 勤労福祉会館内 TEL 025-281-7555/FAX 025-281-7556
発行人：牧野 茂夫 編集人：桑原 典子

くらしをまもり、未来をつくる。未来づくり春闘

2023春季生活闘争 連合新潟要求および回答・要結集計状況(3月31日公表)

- 回答を引き出した組合の定昇相当込み賃上げ加重平均は、平均賃金方式で10,301円・3.67%(昨年同時期比3,998円増・1.38ポイント増)で、300人未満の中小組合は6,516円・2.72%(同2,182円増・0.91ポイント増)となった。
- 賃上げ(ベースアップ)は、賃上げ分が明確に分かる組合の加重平均で6,838円(昨年同時期比4,836円増)と、分配構造の転換につながり得る賃上げの流れを維持。

定昇相当込み賃上げ集計(集計組合員数による加重平均)

回答・要結	集計組合		2023年回答・要結(3月31日公表)		前年同期比	
	組合数	組合員数	金額	率	金額	率
計	32	13,144	10,301	3.67	3,998	1.38
300人未満	15	1,342	6,516	2.72	2,182	0.91
99人以下	7	348	6,684	2.95	2,365	1.06
100~299人	8	994	6,458	2.64	2,118	0.86
300人以上	17	11,802	10,732	3.77	4,205	1.43
300~999人	14	4,863	9,006	3.20	2,833	0.98
1000人以上	3	6,939	11,941	4.18	5,166	1.75

ベースアップ分(集計組合員数による加重平均)

要求	集計組合		2023年要求(3月31日公表)		昨年同時期	
	組合数	組合員数	金額	率	金額	率
計	96	32,048	13,751	5.14	1,254	1.00
300人未満	56	4,756	12,485	5.14	1,254	1.00
300人以上	40	27,292	13,971	5.14	1,254	1.00

年間一時金集計(集計組合員数による加重平均)

回答・要結	集計組合		2023年回答・要結		前年同期比	
	組合数	組合員数	金額	率	金額	率
計	12	8,062	1,163,278	34.38%	34,386	0.93%
300人未満	12	8,062	1,163,278	34.38%	34,386	0.93%

連合新潟2023春季生活闘争 要結ミナモト基準額を設定!

賃金カーブ維持相当分4,500円と賃金改善分1,500円をあわせ6,000円以上の賃金引き上げをめざす

連合新潟は3月23日第2回戦術委員会と3月28日拡大闘争委員会で「要結ミナモト基準」について議論し、要結ミナモト基準を6,000円以上と設定しました。

連合新潟の要結ミナモト基準額は、交渉組合の1つの指標的役割と県内相場形成、さらには未組織労働者を抱える企業へ波及させることが目的です。現時点までに示された回答は、産業による違いはあるものの、多くの組合が、1994闘争以来となる3%台の賃上げを獲得しています。これは労使が中長期的視点を持って粘り強くかつ真摯に交渉した結果といえます。有期・短時間・契約等働く仲間の賃金も、同率以上の引き上げを目指しての取り組みをお願いいたします。そしてあらゆる戦術を駆使し、要求の趣旨に沿った回答を引き出すべく、最後の最後まで粘り強い取り組みをよろしくお願いたします。



連合新潟 2023春季生活闘争 2023年4月6日

会長・事務局長による加盟組合訪問

今年も県内各地域の加盟組合を牧野会長と小林事務局長が訪問し、春季生活闘争の取り組みの情報交換、意見交換を行いました。加盟組合によっては大変厳しい交渉となっているところもありますが、どの組合も、組織内での話し合いをしっかりと行って課題を整理し、労使交渉にむけて取り組んでいました。通常の業務、組合員への説明と、大変忙しい時期ではありましたが、訪問時は皆さんから笑顔で対応していただきました。今後も加盟組合への訪問は継続してまいりますので、ぜひお声がけください。



2月15日大島農協訪問 3月10日北越コーポレーション訪問 3月7日県民協同組合連合会一帯に三務機製作所が労使訪問

経営団体・行政への要請行動

2月13日の新潟県経営者協会を皮切りに、新潟県中小企業団体中央会、新潟商工会連合会、新潟県社会保険労務士会各団体へ2023春季生活闘争に関する要請を行いました。また経営団体とは中小企業の賃上げのための公正取引と適正な価格転嫁、しわ寄せ防止などを重点に、新潟労働局、新潟県への要請は産業課題や若年労働者の定義などを中心に、意見交換を行いました。



3月13日新潟労働局への要請

一 激励

取り巻く環境を改善するための賃上げを!

連合新潟 闘争委員長 牧野茂夫

新型コロナウイルス感染症が日本で確認されてから3年、社会の様子は大きく変わったが、今年の3月13日からマスクの着用が自己判断に委ねられ、5月8日からは新型コロナウイルスの感染拡大防止の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行することで、社会・経済活動新たな局面に入ったといえる。一方、ロシアによるウクライナ侵襲は1年を経過しても解決の糸口さえ見つからず、更なる長期化が懸念される。

私たち働く者・生活者の環境は、諸物価が高騰し、税や社会保険料についても悪影響が懸念されている中、賃金上昇が追い付いておらず、ますます厳しさを増している。2023春季生活闘争方針では、28年ぶりの水準となる5%程度の賃金引き上げを目標とした。これは国際的に見劣りする日本の賃金水準を要する必要性や、労働者への分配増や格差是正を前進させることの重要性などを総合的に勘案したものであり、物価高に対応するためだけに数字をあげたという単純な話ではない。「くらしをまもり、未来をつくる。」というスローガンのもと、加盟組合には粘り強い闘いを願っている。

3月中旬の最初のヤマ場で、大手など先行組合が引き出した回答は、製造業の電機7社と自動車8社の全てが満額回答となった。歴史的な物価高や人材獲得競争の激化を受け、今年は集中回答を待たずに高水準の回答をする企業も多く、経営側の積極姿勢が鮮明となった。また、政府は8年ぶりに「労使使会議」を開催し、岸田首相は「成長と分配の好循環のための転換点がこの春の賃金交渉」と述べている。

県内でも上場企業を中心に賃上げの動きが広がっているものの、中小企業では「転換」が懸念される。現在も多くの中小・地場組合は、交渉の真っただ中であり、これから正面場を迎えることになる。中小企業で働く仲間の処遇改善がなければ「経済の好循環」には結びつかない。また、生み出した付加価値を処遇改善に結びつけるためにも、公正な取引と分配を実現させなければならない。すべての働く仲間の賃金引き上げ、処遇改善に波及させるため、傷んだ労働条件を回復させ「人への投資」を積極的に行うことこそ、経済の好循環を起動させ、ひいては新潟県の人口流出に歯止めをかけるということも過言ではない。

要求・回答・要結状況は連合新潟ホームページで <http://www.jtuc-rengo.jp/niigata/>